

地方創生加速化交付金・推進交付金を活用した平成28年度実施事業の概要等

交付対象事業の名称	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の概要	KPI(H28年度末)	事業の実績・効果等	今年度の取組み(予定)	推進委員会での評価
【地方創生加速化交付金】 東京郊外型の女性の新しい就労 推進事業	43,187,320	43,187,320	・人口ビジョン調査から、 ①出産の障壁が経済的な要因である ②出産を契機とした女性の退職が多い ③その後の再就職が進まない ということが見えてきた。 ・これらを踏まえ、市内における“しごと”をつくり、地域経済の活性化を図るとともに子育て中の女性の就労を促進し、「女性が輝ける社会」の実現に資することを目的として、以下の事業を実施する。	—	地方創生に非常に効果的であった ・将来に渡って継続することを想定した事業の土台を構築することができた。 ・KPIも概ね達成され、翌年度以降に向けた展望が開けた形となっている。	・将来の自立的な運営を目指し、事業を担う団体として「一般社団法人すだち」が設立された。 ・市は当該団体に補助を含めた支援をすることで、事業の推進を図る。	(KPIの達成に有効であったか)
(1) 子育てサイトの構築・ 運営	9,130,320	—	・小平市で安心して子育てができるよう、官民の子育て情報を一元的に提供するWebサイトを構築する。 ・子育て中の女性が編集員として参加することで、有用な情報発信を図るとともに、編集員が取材・編集会議等を通じてスキルアップすることで、再就職、在宅ワーカーとしてのきっかけづくりとする。	・サイトのアクセス件数 【KPI】 10,000件 【実績】 17,420件 ※将来KPI 15万件(H31)	地方創生に非常に効果的であった ・子育て応援サイト「こだち」を10月に開設し、当初目標の1万件アクセスを上回ることが出来た。 ・ママ編集員による記事作成体制も整い、実際に複数の記事を掲載することが出来た。	・子育て応援サイト「こだち」の運営について、(一社)すだちが担うこととし、市は補助を含めた支援をする。 ・(一社)すだち運営による体制を確立するとともに、女性の就労促進事業との連携を強化していく。 ・市と(一社)すだちの連携体制についても、打合せ等を通じて確立していく。	(KPIの達成に有効であったか)
(2) 子育て中の女性の就労 促進事業	34,057,000	—	・コワーキングスペースを整備し、ICTやライティングなどのスキル研修を実施し、在宅での就労や再就職等の就労支援を行う。 ・仕事の受注と発注を行う「テレワークステーション」を設置し、在宅ワークを支援する仕組みを構築する。 ・就労プロデューサーの育成研修も行う。 ・その他、コワーキングスペースでは、創業の支援等も行う。	・スキルUP講習会 参加人数 【KPI】 200人 【実績】 205人 ※将来KPI 1,000人(H31) ・在宅ワークによる新規 就労(内定含む)者 【KPI】 30人 【実績】 10人 ※将来KPI 200人(H31)	地方創生に 相当程度効果があった ・学園坂の商店街に、「こだいらコワーキングスペースすだち」を開設し、講習会や、創業を含む就労支援の仕組みが始動した。 ・目に見える形で新たな拠点を整備し活動したことで、新聞やテレビ、地元ケーブルテレビ等でも取り上げられた。 ・KPIについては、在宅ワークによる新規就労者数が目標に届かなかった。この点は特に、翌年度以降更なる取組が必要といえる。 ・KPIには反映されない実績として、セミナー受講者の中には、在宅ではないが市内での就労を実現した事例もあった。	・「こだいらコワーキングスペースすだち」の運営について、(一社)すだちが担うこととし、市は補助を含めた支援をする。 ・軌道に乗りつつある創業支援の取組について推進するとともに、テレワークを中心とした在宅ワークによる就労支援について、本格的に取り組み、KPIの実現を期する。 ・そのために必要となるセミナー等についても、引き続き実施していく。	(KPIの達成に有効であったか)
【地方創生推進交付金】 東京郊外型就労推進事業と連携 した創業支援による地域のにぎわ い事業	954,000	477,000	・市内金融機関と連携し、市庁舎内の一室において創業希望者に対し創業相談窓口(当初月1回から)を実施する。 ・商工会や金融機関と連携して創業セミナー(年2回程度)及び創業塾(年2回)を実施する。 ・関連事業として、商工会が主体となって実施しているチャレンジジョブ事業(創業者に対しての家賃補助)の件数拡大を図ることにより、駅周辺の空き店舗解消を目指すとともに創業の後押しをする。	・認定創業支援事業による支援を受けた件数 【KPI】 100件 【実績】 146件 ※将来KPI 175件(H32) ・第3次産業の事業所数 【KPI】 4,244事業所 【実績】 — (隔年実施の調査による数値で、直近の数値は未発表) ※将来KPI 4,368事業所(H32)	地方創生に非常に効果的であった ・5月に、多摩信用金庫との間で「産業活性化支援に関する包括協定」を締結した。 ・その後、概ね当初の予定どおりに、「創業相談窓口」、「創業セミナー」、「創業塾」を開催した。 ・KPIとして掲げた支援件数も上回る事が出来た。	・商工会への補助、または金融機関への委託という形で個別相談窓口、創業セミナー、創業塾といった各種創業支援を実施するとともに、チャレンジジョブ事業の拡大も図っていく。 ・その際、リーフレットの配架や会場の選定等で、可能な限り、こだいらコワーキングスペース「すだち」と連携を図っていく。	(KPIの達成に有効であったか)

【選択肢】  
・非常に効果的であった  
・相当程度効果があった  
・効果があった  
・効果がなかった

KPIの達成に有効であったかという観点を中心に、評価できる点や改善策等について、ご意見をいただく想定